

# 令和3年度京都広報賞受賞作品の概要

## 広報紙・市の部

福知山市 広報ふくちやま 2021年12月号



(審査委員講評)

大きなシティプロモーションコンセプトに沿って企画が立てられ、内容(取材)も充実しており、読み手を引き込むチカラがある誌面ですね。冊子全体を通してエディトリアルルールが安定していることで、ストレスなく読み通せます。市内外の人にとっても”読んでみたくなる”を実現できています。読者とのコミュニケーション(アンケート)ができており、誌面作りにはしっかり生かせる点も秀逸です。



京都市 きょうと市民しんぶん 12月1日号



(審査委員講評)

都市部で起こっている問題をエビデンスに基づいて提起できているため、興味を持って読み進められます。グラフ、イラスト等を有効に使えているのでストレスなく読み通せますね。またしっかりと読者とコミュニケーション(アンケートに基づく)をとりながら企画等考えられていることもあり、ネタの選定自体で”知りたい、読みたい”気持ちにさせてくれます。



(審査委員講評)

特集の作りが丁寧で理解が深まります。各見出しがシンプルに結論づけられていて、よく編集できていますね。スッキリ読み通せます。全体的にエディトリアルセオリーが守られていて、とてもまとまった冊子になっています。広報誌コンセプトの「人、自然、伝統・・・」を体現できるコンテンツを毎号連載等で情報できていくとシックプライドも高いレベルで深まるような気がします。

会長賞

該当なし



## 写真・1枚写真の部

知事賞

### 綾部市 広報あやべ「ねっと」 9月号表紙 (蓼原乃音香さん)

(審査委員講評)

コピーのとおり、はじける笑顔が切り取られています。各人のポーズ、重なり具合も「これしかない」瞬間です。背景の山川橋がしっかりと写し出されているのも秀逸で、色合い、コントラスト、シャープネスも実面的で、広報写真として秀逸に仕上がっています。



会長賞

### 福知山市 広報ふくちやま 9月号1ページ (吉良恭蔵さん)

(審査委員講評)

漆かきをする真剣な表情が捉えられています。写真の構図、奥行きともに素晴らしく、次ページを捲らせようとする視線誘導がしっかりとなされています。左手の道具が口元にかかっているのだけが残念です。



# 写真・組み写真の部



## 福知山市 広報ふくちやま9月号20ページ (吉良恭蔵さん)



(審査委員講評)

漆ききは丁寧な仕事である、ということが写真から立ちのぼっています。それは何故かという一枚一枚の写真が細やかな心遣いを持って、丁寧に撮られているから。文句なしの知事賞です。



## 広報まいづる12月1日号2,3ページ (谷直樹さん、山内勇輔さん、石原和也さん、扇野元幹さん)



(審査委員講評)

四人がチームで一丸となって撮影したことが伝わる、素晴らしい組み写真です。レイアウトもしっかりとした視線誘導がなされていて、一枚一枚の写真をじっくりと見回していただけるように仕上がっています。



## 映像・委託制作の部

知事賞

### 京田辺市 京田辺市未来都市プロモーション動画



(審査委員講評)

行政の難しいテーマを、パルクールアスリートを起用しうまくイメージで表現出来ている。パルクールの一連の動きの中で街の魅力、主人公の生涯を連動させ、この街で暮らし歳を重ねる素晴らしさが伝わる。各シーンの見せ方を地元の高校生・大学生とのワークショップでアイデアを募った点も、「多くの方を巻き込んで街の魅力を考えたい」という広報課の強い意志を感じる。

京田辺市としてのPRポイントも映像を振り返るとかなりの量が盛り込まれているが、それを感じさせないぐらい簡潔に分かりやすく落とし込まれている。制作者が、映像媒体はあくまでもイメージ媒体であるということをよく理解している。

会長賞

### 福知山市 光秀マインド



(審査委員講評)

明智光秀関連で一貫してプロモーションを展開してきた福知山市。今回何よりも素晴らしかったのが、行政が一番苦手とする「成果広報」という視点が盛り込まれている点だ。動画では「光秀マインド」というキーワードを軸に「いかに街が元気になったのか?」。市民の表情だけでなく資料、数値など盛り込みながら制作されている。「何かやっているよな?」と感じている市民がこの映像を見ることで新たに理解が深まり、取り組みの輪が広がることが予測される。プロモーションでも様々な事業を展開されているが、この映像が横串を刺す役割も果たしており、事業のコンセプトを市民のみならず行政・関係者が再認識する機会となっている。外向けの華やかなプロモーション映像に行きがちだが軸足のしっかりした今回の作品は、今後の行政制作の映像のあり方を問う素晴らしい作品である。

## 映像の部

知事賞

### 京丹波町 明智光秀の歴史 京丹波にあり



(審査委員講評)

地元放送局としてNHK大河ドラマでブームとなった明智光秀の痕跡を地域の方と共に番組として残そうとした取り組みが素晴らしい。時代考証など難しい点も多いが制作者がよく勉強されたのが分かる。また構成に落とし込むのも大変苦労されたと思うが、地元のゆかりの地に対する興味を持たせるようナレーションも端的で分かりやすく表現されている。歴史物は画が足りなくなるがドローン空撮の映像も効果的に使われている。

会長賞

### 木津川市 石黒由美子がめぐるきづがわいいの旅

#### 幻の食材編 Part1



(審査委員講評)

自主制作だが「視聴者にどうすれば見てもらえるのか?」。他の動画やテレビ番組の手法などよく勉強されている。説明部分もインサートされており撮影の基本も理解している。ドローンの俯瞰映像も効果的だ。カメラマンの立ち位置とインタビューコメントに合わせてインサートを撮影することを丁寧にすれば一気にレベルが上がる。



# 府民賞

## 福知山市 広報ふくちやま10月号

〈府民賞〉 府民から見た広報紙の読みやすさ、見やすさをWEB投票によって決定。

(主な意見)  
 デザインがおしゃれ。情報量が多いが、写真から内容への繋がりもセンスを感じさせるし、最初に地域特有の話題をもってくるなど読み手の興味を誘うよう工夫もされていて、興味深い。「命を残さず...」など言葉のインパクトがあり、表紙の写真も暖かい感じがするしおもしろいので、どんな感じかなと気になる。